

新人研修(10月)

10月20日(火)新人研修が行われました。

午前中は「6ヶ月フォローアップ研修」、午後は「緩和ケアを受ける患者の理解」というテーマで開催されました。

入職後6ヶ月がたち、困ったことやヒアリ・ハットも経験しました。その体験事例をグループワークすることにより、問題が共有され、多くの知識を得る機会となりました。

6ヶ月フォローアップ研修の学び、感想

- ◇ グループワークでは、自分と同じような考えの人がいてうれしかった。
- ◇ 困っていることなど、共感できる場所が多々あった。
- ◇ 自分だけではないと感じることができた。
- ◇ 点滴固定テープに【これは大事なものです。とらないでくださいね。】と書いたら自己抜針がなくなったと聞き、「そんな解決策もあるのか」と新たな気づきがあった。
- ◇ 他病棟で起こった事例を元に業務をより安全かつ効率的に行う方法を学ぶことができた。
- ◇ 6ヶ月となり、時間だけが過ぎて技術が身につけていないのが不安。
- ◇ 久々に同期と話す機会となり、改めて頑張ろうと思えた。

緩和ケアを受ける患者の理解は、①看護師の役割と患者・家族の気持ちを理解する。②信頼関係を築くコミュニケーション技法を習得する。を目的にした研修でした。緩和ケア認定看護師からの講義を受け、患者・看護師・家族役となりロールプレイにも挑戦しました。





価値観



傾聴

コミュニケーション



エンドオブ
ライフ

患者・家族の
思い

寄り添う

「緩和ケアを受ける患者の理解」の学び

- ❖ 患者さんから攻撃的な言葉をかけられたときも感情が表出できたことを良いことと捉え一歩踏み込んだコミュニケーションにつなげるスキルの必要性を学んだ。
- ❖ 患者の視点になることで看護師側では当たり前となっていることでも患者側から改めてみると違和感を感じ、自分たちのコミュニケーションを見直すきっかけとなった。
- ❖ 患者さんの身体的症状に目がいきがちだが、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの面から患者を理解しアセスメントしてケアを行っていくことを学んだ。
- ❖ 看護師は多職種のあいだに入り、架け橋となって連携し、少しでも患者・家族の意向が叶えられるように調整していく必要があると学んだ。
- ❖ 終末期ケアは何度か経験したが改めて勉強すると奥が深いなと感じた。人生の大切な瞬間に関わる看護師は重たい仕事だがやりがいも感じる。
- ❖ ロールプレイでは患者さんの気持ちをくみ取りつつ、その人の受け止め方や理解度を聞き出すことの難しさを実感した。
- ❖ 悪い知らせを伝える際のコミュニケーションの重要性や方法が学べた。